会　議　録

1　会議名

令和 8 年度　第 4 回諏訪区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

・上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について（資産活用課）

(2) 自主的な審議（公開）

・地域活動資金の確保　カプセルトイ☆すわ

3　開催日時

令和 8 年 7 月 23 日（木）午後 7 時 00 分から午後 7 時 55 分まで

4　開催場所

諏訪地区公民館　集会室

5　傍聴人の数

なし

6　非公開の理由

なし

7　出席した者（傍聴人を除く。）

・委　員：相澤委員、池田委員、川上(賢)委員、佐藤(恵)委員、佐藤(祐)委員、
澤海委員、寺田副会長、西嶋委員、山田会長（欠席 3 名）

・事務局：中部まちづくりセンター　井守所長、渡邉係長

・資産活用課：竹下課長

・社会教育課：加藤参事

8　発言の内容（要旨）

・半数以上の委員出席のため会議成立

・会議録の確認：寺田副会長

■3 議題　(1) 報告事項　上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について

（関係資料：資料№1-1～1-5）

【資産活用課 竹下課長】

・資料№1 に基づき説明

○質疑

【山田会長】

・移転後の公民館の使用料などについてはこれから決めるのか。

【社会教育課　加藤参事】

・本日説明した内容は、現在の公民館の変更案である。移転後の使用料等については、来年度中に地域協議会へ改めて説明、諮問する予定。

（関係課退席）

■3 議題　(2) 自主的な審議　地域活動資金の確保　カプセルトイ☆すわ

（関係資料：資料№2）

【渡邉係長】

・資料№2 に基づき説明

【山田会長】

・前回、関係団体から出席いただき、地域協議会の取組案をおおむね理解いただいたと認識している。今回は、一番肝心な実施主体を決定したい。諏訪の里づくり協議会ありきでなく、フラットに協議していただきたい。

・実施主体となる団体について意見はあるか。

【西嶋委員】

・新しい団体を立ち上げることも想定できるが、実際には難しいだろう。自身ですわっ子クラブを運営していて、こちらで実施できればいいとは思うが、負担が大きくなることを懸念している。

【会長】

・全員の意見を伺う。

【澤海委員】

・どの団体も忙しいのでなかなか難しいと思う。本当は、この取組のための団体が立ち上がればすごく話が早いのだが、団体を新たに立ち上げることもなかなか難しい。やはり諏訪地区全体の話となると、諏訪の里づくり協議会がよいと思う。

【佐藤(祐)委員】

・すわっ子クラブの西嶋委員から前向きな発言があったので賛成する。ただ、他の団体のことまですわっ子クラブが全て面倒を見るという方向にしないでほしい。未来すわでもよいと思う。

【佐藤(恵)委員】

・各団体が平等に活用するのは無理だと思う。すわっ子クラブは多忙であり、未楽来すわは素材提供はできても、自身が活用する機会がないことや、カプセルトイの中身を検討することを考え合わせると、団体の年齢層が高くて難しいと思う。

【渡邉係長】

・説明を補足する。ここで中心を担っていただきたい団体というのは、年間を通じて、主に機材貸出しの管理を調整するイメージである。

【佐藤(恵)委員】

・何となくだが、諏訪の里づくり協議会がよいと思う。

【川上(賢)委員】

・管理となると、諏訪の里づくり協議会が一番いいと思う。

【池田委員】

・それぞれの団体の活動に活用するものについて、取りまとめ役は難しいと思う。そのための団体が必要であることが理解できていない。

【相澤委員】

・利益が出るのであれば、配分が一番大きい団体か里づくり協議会が望ましいと考える。

【寺田副会長】

・地域協議会としては、諏訪の里づくり協議会が妥当であるとの意見が一番多く、打診する方向で進めるかと思うが、その前に団体からの自薦を問うことになる。

・ただ、その前に、引き受けていただけそうな方にアプローチをしておくことも大切。

・また、地域協議会委員はその団体が全てを背負わないよう、サポートをしていく、役割を担うということを前提に団体へアプローチしたい。

【山田会長】

・今ほどの副会長からの補足事項も含め、まず自薦の有無を確認してから、諏訪の里づくり協議会に打診する方向で進める。

・次に、その団体が管理するための「管理事項」について、これまでの協議でいろいろと懸念もあったため、資料№2 の 10 に整理されている。この他に懸念事項はあるか。

【佐藤(恵)委員】

・売り上げのお金の管理は含まれないか。

【渡邉係長】

・これまでの協議では、売上は全て活用した団体のものとし、実施主体の団体が一元管理することはないと整理している。
・ただし、今後、実施主体となる団体が売上げの一部を回収するというルールを作るのであれば、管理が必要になってくる。
・このほか、市の補助金を活用して購入するので、令和9年度は補助金の手続きが必要だが、それは各々で行うのでなく、実施主体の団体が取りまとめる。

【山田会長】
・実施主体の団体にカプセルトイ本体の手配をしてもらう。各団体が使いたいときに貸し出し、売上げは各々のもの。マージンが発生すると手間が増えるため、現段階では貸し借りだけにしておけば互いに手間がなくてよいと考えている。

【澤海委員】
・マシンが破損・故障したらどうするのか。

【渡邉係長】
・補助金の性質上、壊れたものの修繕費は補助の対象にならない。団体が自費で修繕する分には問題ない。

【澤海委員】
・毎年購入申請することは可能か。

【渡邉係長】
・今回1台購入し、好評なので次年度にもう1台購入するということであればあり得ると考える。

【山田会長】
・今ほどの懸念事項はマシンの管理に含める。
・次回は団体の皆さんに出席いただき、今ほどの想定し得る管理事項を示したうえで、実施主体を担っていただけるか意思確認を行いたい。希望がなければ先ほど意見が多かった諏訪の里づくり協議会に打診することでよいか。

（よしの声）
・地域協議会委員として、実施主体となっていただく団体に対し積極的に協力する姿勢で今後も話を進めていくことを承知いただきたい。

■4 その他　(1) 次回開催日程
・第5回地域協議会：8月27日（木）午後7時から　諏訪地区公民館　集会室（予定）

■4 その他　(2) その他

（無し）

9　問合せ先

総合政策部　地域政策課　中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。